

## 甲良町集落営農法人研修会(第2回)を開催 ～持続的な地域農業の発展をめざして～

甲良町には13集落があり、その内の11集落において12の集落営農法人が設立されています。各法人では定年の延長や人口減少などにより人材確保・育成に不安を抱えており、当課ではこれらの問題が解決できるように、次世代人材の計画的な確保と育成の研修会を昨年を引き続いて開催しています。今年度の第2回目の研修は令和元年12月11日、甲良町役場呉竹地域総合センターにおいて開催し、8法人15名の理事やオペレーターが出席されました。

研修会には彦根市の農事組合法人フレンドリーファームいしでの代表理事・上田泰行さんよしみちを講師に招きました。下石寺町の農業組織の変遷、農事組合法人の設立、10年先を見据えた集落営農の課題、経営が継続できる法人の条件（年齢構成や役員交代）、集落内外から人材を確保するためには集落営農をしながらも企業的経営の感覚が必要であること、次の経営を託せるリーダーを見つける必要があることなどの話がありました。

出席された理事らは、上田さんの話に首を縦に大きく振る方、自分の法人と重ね合わせて眉間にシワを寄せる方など反応が様々でした。情報交換の場では外部雇用の募集方法、集落と雇用者の関わり方などの質問や、直面している次世代人材の確保・育成について悩みを打ち明けていました。

今回の研修会で次世代の人材確保や育成を実践することの必要性を伝えられ、当課からはそのための計画の策定や、取り組みの実践について強く促しました。



(農)フレンドリーファームいしでの取り組みを紹介する上田泰行さん(左上)と話に聞き入る出席者ら(右上)。講演後の情報交換は、終了予定時間を越えて熱心な質疑応答が交わされた(下段)。